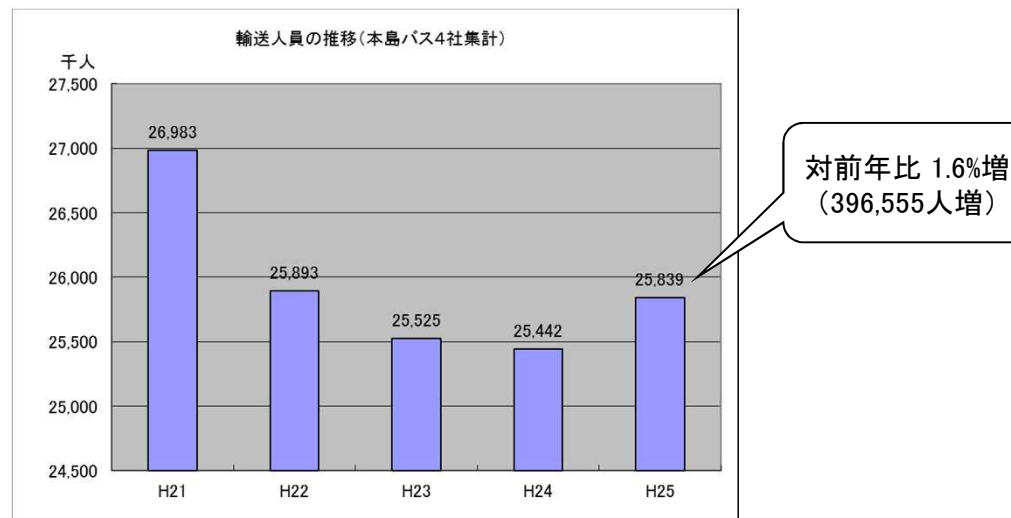


利便性の高い公共交通ネットワーク 構築に向けた短中期的取組

平成27年3月17日
沖縄県

1 利便性の高い公共交通ネットワーク構築に向けた短中期的取組

- 沖縄県では、利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた短中期的な取組として、定時速達性が高く多頻度運行の基幹バスシステムを導入することとしている。
- 同システムの導入に向けて、ノンステップバスやIC乗車券システムの導入、系統別カラーリングの実施、バス停のグレードアップなど、バスの利用環境改善に向けた各種事業に取り組んでいる。
- これら取組により、バスの輸送人員は年々減少傾向にあるなか、平成25年度の輸送人員は、上昇に転じている。



- また、バス専用の走行空間を確保するため、本年2月2日から国道58号のバスレーンを延長したところである。

2 基幹バス導入に向けた取組

① バスレーンの延長

- ・定時速達性の確保
- ・過度な自動車利用を抑制



② バス停のグレードアップ

- ・上屋及びベンチの設置
- ・分かりやすい時刻表



基幹バスを実現するためには、次のような取組が必要となる。



③ IC乗車券システムの導入

- ・乗継割引等の実施
- ・乗降時間の短縮



④ ノンステップバスの導入

- ・すべての利用者の快適性向上
- ・乗降分離による停車時間の短縮



3 一括交付金を活用した取組 (公共交通利用環境改善事業)

- ・ 事業期間：平成24年度～平成28年度
- ・ 平成27年度当初予算：910,826千円（平成26年度当初予算 2,171,777千円）
- ・ 事業者に対する補助率：原則8／10
（ノンステップバスについては、車両購入額の8/10または1,530万円のうちいずれか少ない額）
- ・ 事業スケジュール

	H24	H25	H26	H27	H28
IC乗車券 システム導入	基本計画策定	システム開発・機器導入		運用開始	
バスロケーション システム導入	システム開発 ・機器導入	運用開始			
多言語公共交通 検索システム導入	システム開発	運用開始			
ノンステップバス導入	車両購入 (約40台/年)	車両購入 (約40台/年)	車両購入 (約40台/年)	車両購入 (約40台/年)	車両購入 (約40台/年)
多言語対応機器等導入			機器設置	機器設置	機器設置
公共交通利用 促進広報活動		広報・啓発	広報・啓発	広報・啓発	広報・啓発